

令和5年度事業報告書

1 基本財産の造成状況

(単位：円)

区 分		金 額 (円)
行政	岩 手 県	10,000,000
	市 町 村	10,000,000
	小 計	20,000,000
民間	学校法人岩手医科大学	5,000,000
	一般社団法人岩手県医師会	5,000,000
	小 計	10,000,000
合 計		30,000,000

2 基本財産の運用状況

(単位：円)

運用先	種 別	当期末残高	基本財産 運用収入	運用実績 (年利換算)
三菱UFJモルガン スタンレー証券(株)	利付国債(20年) (2032/6/20)	19,892,140	333,705	1.67%
みずほ証券(株)	利付国債(20年) (2040/6/20)	9,898,726	46,217	0.46%
岩手銀行雫石支店	預金	209,134	0	0.00%
合 計		30,000,000	379,922	1.26%

3 庶務事項

(1) 役員構成

(令和6年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	大 井 清 文	
副理事長	本 間 博	一般社団法人岩手県医師会長
専務理事	今 野 秀 一	いわてリハビリテーションセンター副センター長(事務)
理 事	小 原 重 幸	岩手県医療局長
〃	佐 藤 義 朝	いわてリハビリテーションセンター長
〃	高 橋 昌 造	岩手県町村会代表(矢巾町長)
〃	武 田 哲	岩手県市長会代表(滝沢市長)
〃	野 原 勝	岩手県企画理事兼岩手県保健福祉部長
監 事	佐々木 政 徳	公認会計士
〃	古 舘 和 好	岩手県市長会事務局長

(2) 事務局の構成

(令和6年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
事務局長	伊 勢 貴	業務推進部長
事務局次長	鈴 木 光 将	業務推進部副部長 (総務担当)
書 記	鎌 田 隆 一	業務推進部副部長 (医事担当)
〃	清 川 智 子	業務推進部副部長 (予算経理担当)
〃	村 上 正 晃	業務推進課長(企画担当)
〃	矢田森 遥 香	主 事

(3) 理事会の開催

ア 第21回理事会

日時 令和5年6月5日(月) 14時00分から

場所 アイーナ 8階「803会議室」

議事 議案第1号 令和4年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和5年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 令和5年度定時評議員会の招集について

イ 第22回理事会

日時 令和6年3月7日(木) 14時00分から

場所 エスポワールいわて 2階 「大中ホール」

議事 議案第1号 令和5年度収支補正予算案について

議案第2号 令和6年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 役員及び評議員の報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第5号 令和5年度臨時評議員会の招集について

(4) 評議員会の開催

ア 第21回評議員会

日時 令和5年6月22日(木) 14時00分から

場所 ホテルニューカーリーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和4年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和5年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 理事9名の選任について

議案第4号 評議員1名の選任について

イ 第22回評議員会

日時 令和6年3月18日(月) 14時00分から

場所 エスポワールいわて 2階 大中ホール

議事 議案第1号 令和5年度収支補正予算案について

議案第2号 令和6年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 役員及び評議員の報酬等並びに旅費及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第5号 評議員の選任について

4 事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

ア 1日平均入院患者数

	令和5年度	令和4年度	増減
患者数(人)	90.1	84.5	5.6

イ 患者数の状況 (単位:人)

令和4年度末 入院患者数	令和5年度 入院患者数	令和5年度 退院患者数	令和5年度末 入院患者数
83	429	423	89

<参考>

令和3年度末 入院患者数	令和4年度 入院患者数	令和4年度 退院患者数	令和4年度末 入院患者数
91	429	437	83

ウ 平均在院日数

	令和5年度	令和4年度	増減
在院日数(日)	76.4	70.2	6.2

エ 退院先

令和5年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	321	62	40	423
構成割合(%)	75.9	14.7	9.4	100

<参考>

令和4年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	342	57	38	437
構成割合(%)	78.3	13.0	8.7	100

オ 入院患者の疾患別内訳

令和5年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	251	44	66	48	20	429
構成割合(%)	58.5	10.2	15.4	11.2	4.7	100

<参考>

令和4年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	281	37	58	43	10	429
構成割合(%)	65.6	8.6	13.5	10.0	2.3	100

カ 主な保健医療圏別患者数 ※前掲(1)Aイの入院患者数の内訳

令和5年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	199	47	43	20	35	27	26	32	429
構成割合(%)	46.4	11.0	10.0	4.6	8.2	6.3	6.0	7.5	100

※その他の内訳:久慈15人、両磐10人、県外7人

<参考>

令和4年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	194	40	25	19	28	46	44	33	429
構成割合(%)	45.3	9.3	5.8	4.4	6.5	10.7	10.3	7.7	100

※その他の内訳:久慈12人、両磐12人、県外9人

キ 平均年齢 (単位：歳)

令和5年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	64.0	68.4	65.5

<参考> (単位：歳)

令和4年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	64.7	66.3	65.3

B 外来患者の状況

令和5年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数(人)	2,926	529	66	73	540	310	303	0	1,821

<参考>

令和4年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数(人)	3,178	339	47	125	609	97	454	0	1,671

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区分		令和5年度	令和4年度	増減	備考
入院	延患者数	32,964	30,851	2,113	
	1日平均患者数	90.1	84.5	5.6	
外来	延患者数	2,926	3,178	-252	
	1日平均患者数	12.0	13.1	-1.1	

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区分	令和5年度	令和4年度	増減	備考
泌尿器科	529	339	190	
耳鼻咽喉科	66	47	19	
眼科	73	125	-52	
歯科	540	609	-69	
循環器内科	310	97	213	
糖尿病代謝内科	303	454	-151	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

令和5年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数(人)	46	6
延訪問回数(回)	2,697	301

<参考>

令和4年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数(人)	47	5
延訪問回数(回)	2,304	259

E 通所事業の状況

令和5年度	通所リハビリ
実利用者数(人)	20
延利用回数(回)	889

<参考>

令和4年度	通所リハビリ
実利用者数(人)	23
延利用回数(回)	890

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

令和5年度	161件
令和4年度	172件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ① 栗石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席
派遣回数9回、派遣職員数延20人
- ② 市町村主催の「シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」講師等派遣
派遣回数16回、派遣職員数延25人、被指導者数延55人
- ③ 市町村主催講演会の講師派遣
派遣回数18回、派遣職員数延18人、受講者数238人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数4回、派遣職員数延35人、被指導者数延71人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年4回、関係機関に送付及びホームページに掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（WEB）
- ・広域支援センター圏域連絡協議会への出席、研修会への講師派遣等
6圏域、8回（うちWEB6回）、従事職員数延17人

E 保健福祉等高齢者施設職員等研修会

- ・呼吸リハビリテーション研修会 開催回数1回、受講者数23人
- ・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延36人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター4名及び地域支援コーディネーター4名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。
相談件数延べ1,291件、実人数110名
- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2回開催、出席者数延べ50名
- ・具体的な支援手法の検討を行うための圏域相談支援コーディネーター会議の開催
1回開催、出席者数延べ11名
- ・支援の普及に向けた研修会の開催
3回開催、参加者数延べ98名
- ・地域における支援体制整備のための支援
県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
- ・事業周知のためのPR・広報活動の実施
「高次脳機能障害カルタ」の配布及び「自主トレプログラム動画」の配信並びに「ホームページ」や「メールニュース」を通じて、高次脳機能障害への理解と支援の拡大を図った。

G シルバーリハビリ体操指導者養成事業

15市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・ 3級指導者養成講習会（5日間）
開催回数2回、従事職員数延40人、養成数12人
- ・ 2級指導者養成講習会（4日間）
開催回数2回、従事職員数延41人、養成数13人
- ・ 1級指導者養成講習会（4日間）及び実習（5日間）等
開催回数1回、従事職員数延36人、養成数11人
- ・ フォローアップ研修会（WEB開催）
開催回数1回、従事職員数9人、参加者数211人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会（WEBと会場のハイブリット開催）
開催回数1回、従事職員数10人、参加者数231人
- ・ 市町村指導者代表（会長等）連絡会（WEB開催）
開催回数1回、従事職員数6人、参加者数40人

H 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

- ・ 巡回相談

担当医師名	相談回数	補装具相談件数（非該当を除く）							
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	歩行器	その他	計
大井清文	8回	2件	20件	38件	18件	0件	0件	0件	78件

- ・ 来所相談

担当医師名	相談回数	補装具相談件数（非該当を除く）							
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	歩行器	その他	計
佐藤義朝	6回	1件	29件	15件	26件	4件	0件	0件	75件
阿部深雪	7回	4件	39件	12件	18件	0件	0件	0件	73件
計	13回	5件	68件	27件	44件	4件	0件	0件	148件

- ・ 書面審査（身障手帳・補装具）

佐藤義朝 12回、48件 阿部深雪 12回、58件 計 24回、106件

(3) 教育研修事業

A 患者家族教室

栄養教室 開催回数12回、参加者数延73人

B 学生受け入れ

延21校、実201人(延560人)

職 種	受入校	実人数
医師	1校	145人
看護師	2校	33人
理学療法士	8校	8人
（訪問リハ科受入）	1校	2人
作業療法士	5校	7人
言語聴覚士	3校	3人
臨床心理士	1校	3人

C リハビリテーションセンター体験学習

岩手医科大学医学部・歯学部介護体験実習

①（2日間×6名）×2回 ②（2日間×5名）×2回 実22人、延44人

D 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 42回、受講者数延1,869人

E 院内職員研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実技講習は人数を分散して開催し、研修は主にスライドや動画等を個人で視聴する形式で行った。

開催回数16回、参加者数延2,169人

時期	研修内容	受講方法	受講人数
R5. 5 ～6	医療安全① AED実技講習 「一次救命処置(BLS)について」	実技講習 (5回)	142名
R5. 6 ～7	「診療報酬改定について」	個人閲覧	164名
R5. 7 ～8	「15分でわかるはじめての交流分析2」	個人閲覧	186名
R5. 8	院内感染① 「性感染症(梅毒)について」	個人視聴	192名
R5. 9 ～10	「個人情報について」	個人閲覧	204名
R5. 10	接遇研修 「2023年度 医療接遇オンラインセミナー<基礎編>」	集合研修 (4回) 個人視聴	167名
R5. 11	院内感染② 「医療従事者と患者さんの生命を守る手指衛生」	個人視聴	195名
R5. 12	「褥瘡ケアの「いろは」 ～予防・発見・悪化防止の3ステップ～」	個人閲覧	136名
R6. 1	「臨床倫理検討法について」	集合研修 (4回) 個人視聴	120名
R6. 2	医療安全③ 「医療ガスの知識」	個人視聴	106名
R6. 2	多職種研修会① 「看護介護10か条」	個人閲覧	125名
R6. 3	「当センターの漢方薬について」	個人視聴	158名
R6. 3	多職種研修会② 「セラピスト10か条」	個人閲覧	119名
R6. 3 ～4	医療安全④ 「インシデント・アクシデント集計報告(R4年度)・5S活動について」	個人閲覧	136名

F 普及啓発

いわてリハビリテーションフォーラム 2023

日時：令和5年10月21日（土）13：00～16：00

一般県民一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

メインテーマ：「共生社会の実現とリハビリテーション

～誰もが参加しやすいスポーツ活動の拠点作りのために～」

基調講演：「パラリンピック教育のあり方～障害の社会モデルと共生社会の実現～」

講師 長野パラリンピック冬季大会金メダリスト マセソン 美季 氏

会場：岩手教育会館とオンラインのハイブリット開催

開催回数1回、参加者 会場30人・Web72人 合計102人、従事職員15人

G その他（職場研修）

- ・管理職員研修会（岩手県医療勤務環境改善支援センター共催）

日時：令和6年2月27日 参加者：17名

- ・若手職員研修会

日時：令和6年3月14日 参加者：12名

- ・両研修とも「働き方改革、医療DX」の講義と、「センターのありたい像」のグループワーク

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和5年度研究発表業績

ア 診療部

《医局》

1. 大腿切断術後に廃用となり多職種連携によるリハビリテーションを行ったが義足獲得に至らなかった1例
○熊谷瑠里子、佐藤義朝、森潔史、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文
西村行秀、村上英恵、西山一成（岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
第60回日本リハビリテーション医学会 福岡県 2023年6月29日
2. 嚥下困難感と高解像度マノメトリー所見を比較した封入体筋炎の2例
○佐藤義朝、森潔史、熊谷瑠里子、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文
西山一成、西村行秀（岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡県 2023年6月29日
3. 岩手県シルバーリハビリテーション体操指導者養成事業における令和3年度までの7年間の活動の拡がり課題
○大井清文、佐藤義朝、阿部深雪、遠藤英彦、森潔史、熊谷瑠里子
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡県 2023年6月29日
4. 当センターにおけるバルーン拡張法のフローチャート(Ver.2)
○佐藤義朝（診療部）、吉田咲子（栄養管理科）、高橋静恵（栄養管理科）
及川理佳子（言語聴覚科）、大井清文（診療部）
第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 神奈川県 2023年9月2日
5. 脊柱靭帯骨化症に対し多数回手術を施行した症例のリハビリテーション介入の1例
○熊谷瑠里子、佐藤義朝、森潔史、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文
西村行秀、村上英恵、西山一成（岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
第54回日本リハビリテーション医学会東北地方 岩手県 2023年10月7日
6. 心臓血管外科医が脳梗塞になって自ら実践した急性期の失語症リハビリテーション
○佐藤義朝
第49回日本脳卒中学会学術集会 神奈川県 2024年3月8日
7. 回復期リハビリテーションの経過中に起立性振戦と診断した右大脳半球梗塞の一例
○佐藤義朝、森潔史、熊谷瑠里子、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文
西村行秀、西山一成（岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
日本リハビリテーション学会東北地方会 宮城県 2024年3月23日

《栄養管理科》

8. 炎症性腸疾患を伴った脳梗塞嚥下障害患者に対し、InBody を用いて適切な栄養評価を行った一例

○吉田咲子、齊藤彩花、高橋静恵、佐藤義朝（診療部）

第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 神奈川県 2023 年 9 月 2 日

イ 看護部

9. 脳血管障害後の活動意欲低下がある患者への食事支援

○菊池よしえ、米澤直子、川崎美香子

岩手県看護研究学会 岩手県 2023 年 10 月 28 日

- 1 0. 回復期リハビリ病棟における遷延性意識障害のある嚥下障害患者が、食物認知ができるようになるための看護ケア

○對馬牧子

第 2 回群馬パース大学摂食嚥下障害看護研究会 群馬県 2024 年 2 月 23 日

- 1 1. 予後不良で認知機能低下のある患者の自宅退院に向けた排泄自立のための看護介入

○菅野航、佐藤宏之、中村令子（東北福祉大学）

第 43 回回復期リハビリテーション研究大会 in 熊本 熊本県 2024 年 3 月 8 日

ウ 機能回復療法部

《理学療法科》

- 1 2. 三次元動作解析装置を用いた通常歩行と膝歩きの比較による運動力学特性の分析

○小野寺一也、村上敏昭（C-CUBE）、関公輔

第 41 回東北理学療法学術大会 岩手県 2023 年 9 月 10 日

- 1 3. 脳卒中片麻痺患者における端坐位から背臥位になる動作での自立度評価の検者内・検者間信頼性

○高山僚平、関公輔、菅野瑞紀、江口舞人、柳葉美優、牧野美里（弘前大学大学院）
高見彰淑（弘前大学大学院）

第 41 回東北理学療法学術大会 岩手県 2023 年 9 月 10 日

- 1 4. 当センター脊髄損傷患者の自宅退院に関係している FIM 項目の検討

○江口舞人、山下浩樹（在宅支援部）、関公輔、熊谷瑠里子（診療部）、佐藤義朝（診療部）

第 41 回東北理学療法学術大会 岩手県 2023 年 9 月 10 日

- 1 5. 当センター回復期リハ病棟における脳卒中片麻痺患者の歩行自立時の身体機能と自立後の転倒との関係

○菅野瑞紀、小野寺一也、山下浩樹（在宅支援部）、関公輔

第 41 回東北理学療法学術大会 岩手県 2023 年 9 月 10 日

- 1 6. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の 8 年間の推移と課題

○佐藤英雄、千葉柊兵、青山祐、小志戸前奈那、渡部祐介、石川美弥子、今野秀一、大井清文（地域支援部）

リハビリテーション・ケア合同研究大会広島 2023 広島県 2023 年 10 月 27 日

- 1 7. いわて災害リハビリテーション推進協議会の 9 年間の活動報告と今後の課題について
- 岩手県リハビリテーション支援センターの立場から -

○関公輔、佐藤英雄、大久保訓、渡部祐介、伊勢貴（業務推進部）

佐藤義朝、大井清文（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会第 43 回研究大会 in 熊本 熊本県 2024 年 3 月 9 日

《作業療法科》

- 1 8. 岩手県作業療法士会 自動車運転再開支援フローチャート作成に向けた取り組み

○小笠原未久、吉田雄哉、大久保訓

第 33 回東北作業療法士学会 宮城県 2023 年 6 月 25 日

- 1 9. ボツリノス療法と装具療法を併用し Transfer Package を中心とした外来作業療法にて生活の中で麻痺手の使用へと繋がった事例

○千葉聖矢、渡部祐介、佐藤義朝（診療部）

第 33 回東北作業療法学会 宮城県 2023 年 6 月 25 日

- 20. 外来通院患者における自動車運転評価の傾向と課題
○大久保訓、山本晶子（在宅支援部）、佐藤義朝、大井清文（診療部）
第33回東北作業療法学会 宮城県 2023年6月25日
- 21. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業における活動の拡がり
○小志戸前奈那、渡部祐介、佐藤英雄、高橋真由美（地域支援部）、大井清文（診療部）
第57回日本作業療法学会 沖縄県 2023年11月10日
- 22. 回復期にCI療法と複数回の面接を実施したことで家庭菜園を再開した事例
○千葉聖矢、渡部祐介、佐藤義朝（診療部）
第57回日本作業療法学会 沖縄県 2023年11月11日
- 23. 家事動作訓練を通して、生きがいである生け花への再開を試みた一症例
○黒澤菜央、小笠原未久、山本晶子（在宅支援部）
第35回岩手県作業療法学会 岩手県 2023年11月26日
- 24. CI療法を実施したことで、ヘアケアという目標設定につながった症例
○山本理瑛、千葉聖矢、長山悦子
第35回岩手県作業療法学会 岩手県 2023年11月26日
- 25. 記憶障害を呈した事例に対して代償手段の獲得とQOLの向上を目指してスマートフォンを活用した一例
○鈴木百音、橋本彩花
第35回岩手県作業療法学会 岩手県 2023年11月26日
- 26. ADLの介助量の多い症例に対して自宅退院に向けて行った家族への関わり
○浪岡奈々子、川畑智代、山本晶子（在宅支援部）
第35回岩手県作業療法学会 岩手県 2023年11月26日
- 27. 作業遂行6因子分析ツールを使用し参加の獲得に向け介入を行った結果、家族のつながりの変化が得られた重度意識障害事例
○滝川聖也、渡部祐介
回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会 in 熊本 熊本県 2024年3月8日
- 28. 低酸素脳症後に高次脳機能障害を呈した症例への独居と復学に向けた関わり 家族・学校との連携により大学院復学に繋がった一症例
○小笠原未久、吉田賢史、佐藤義朝（診療部）
回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会 in 熊本 熊本県 2024年3月9日

《言語聴覚科》

- 29. 重度球麻痺による嚥下障害にバルーン訓練と完全側臥位を行い、座位で3食経口摂取可能となった一例
○水野亮太郎、乳井亮輔（弘前医療福祉大学）、佐藤義朝（診療部）
第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 神奈川県 2023年9月3日

エ 在宅支援部

- 30. 外来リハビリテーションから通所リハビリテーションに移行し、目標を具体化することで「活動と参加」に変化が得られた一例
○山本晶子、山下浩樹、大井清文（診療部）
リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023 広島県 2023年10月27日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年1回実施している。

第55回院内研究発表会 2024年3月5～3月25日 （オンデマンド配信）

- 1. 「回復期病棟で実施した嚥下内視鏡検査による片側咽頭麻痺所見を契機に、延髄外側梗塞の診断に至った多発外傷の一例」
診療部 佐藤義朝
- 2. 「自動車運転再開支援を行った対象者への追跡調査～病前との違いに着目して～」
作業療法科 吉田雄哉
- 3. 「重度球麻痺による嚥下障害にバルーン訓練と完全側臥位を行い、座位で3食経口摂取が可能となった一例」
言語聴覚科 水野亮太郎

4. 「回復期リハビリテーション病棟から生活期へ移行した患者に対する外来看護師の役割」
看護部 後藤由美

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
- イ データベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データベース入力（約 6346 症例）
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

- ア データ管理ならびに集積情報のまとめ
- イ 集積データの分析ならびに研修会での提示

E 研究開発部からの派遣

県外で行われているイベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア これってな～に??（院内向け）No. 140～141 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ CI療法に関する研究
- オ 嚙下障害に関する基礎研究
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- ケ 自動車運転シミュレーターを用いた自動車運転能力の研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ データベース構築に関するシステム開発
- カ 日本神経外科学会データベース研究事業への調査協力
- キ 回復期リハビリテーション病棟協会調査への協力
- ク 日本リハビリテーション病院・施設協会調査への協力
- コ 岩手大学工学部との嚙下運動のシナジー解析の共同研究
- サ 義足継手の電動モーターによる駆動方式設計開発への動作解析協力